

新首席客演指揮者  
ヤン・ヴィレム・デ・フリースト登場！  
古典と現代の融合と調和

第696回

定期演奏会

# 京都市交響楽団

指揮：  
ヤン・ヴィレム・デ・フリースト  
(首席客演指揮者)  
Conductor: Jan Willem de Vriend  
(Principal Guest Conductor)

©京都市交響楽団

The 696th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

**フライデー・ナイト・スペシャル**

はいつもと違う！  
気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、それが「フライデー・ナイト・スペシャル」！

- ★夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい！
- ★休憩なしのプログラムに楽しみを凝縮！
- ★親しみやすい曲や多彩な曲目のセレクトで金曜の夜を楽しめる！

📺 田岡日鑑賞で京響定期のコンプリートも！  
★土曜公演よりもリーズナブルな料金設定で来場しやすい！

2025 **フライデー・ナイト・スペシャル**  
休憩なし「Friday Night Special」with no intermission

**1/17** 金 午後7時30分開演  
(午後6時30分開場)  
Fri, January 17, 2025 / 7:30PM

モーツァルト：  
セレナード 第10番 変ロ長調 K.361  
「グラン・パルティータ」

シューマン：  
交響曲 第2番 ハ長調 作品61  
Mozart: Serenade No. 10 in B-flat major K.361 "Gran Partita"  
Schumann: Symphony No. 2 in C major op. 61

★1/17日公演は当初の予定から曲目の一部と出演者を変更して開催します。  
(ヴァイオリン独奏・小峰航一氏の出演はございません)

**1/18** 土 午後2時30分開演  
(午後1時30分開場)  
Sat, January 18, 2025 / 2:30PM

メンデルスゾーン：  
「夏の夜の夢」の音楽から「序曲」

ベルト：弦楽と打楽器のためのフラトレス

ダウランド：弦楽合奏のための「あふれよ、涙」

シューマン：交響曲 第2番 ハ長調 作品61  
Mendelssohn: "A Midsummer Night's Dream" – Overture  
Pärt: Fratres for string orchestra and percussion  
Dowland: "Flow, my tears" for string orchestra  
Schumann: Symphony No. 2 in C major op. 61

開演前  
は指揮者による  
「プレトーク」で  
お楽しみください。

1/17日公演：午後7時ごろから  
1/18日公演：午後2時ごろから  
「プレトーク」はホール・ステージ上  
にて開催します。

## 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

2024 11/16日 から発売

**入場料**

1/17日公演 **フライデー・ナイト・スペシャル**

④4,000円 ③3,500円 ②3,000円 ①2,000円 ①1,500円 (舞台後方席)

U22 (当日残席がある場合のみ発売) ①1,500円 ①1,000円 ①500円 ①500円

1/18日公演

⑤5,500円 ④5,000円 ③4,000円 ②3,000円 ①2,000円 (舞台後方席)

U22 (当日残席がある場合のみ発売) ②2,000円 ①1,500円 ①1,000円 ①1,000円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお問い合わせください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット  
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ルームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-734
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55743

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。  
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年1月10日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ルームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛：ローム株式会社 協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都  
発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



# The 696th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

首席客演指揮者就任披露の5月に続く、ヤン・ヴィレム・デ・フリーント指揮による今シーズン2回目の定期！今回はメンデルスゾーンとシューマンで現代の音楽&アレンジ作品をサウンドイッチします。メンデルスゾーンの「夏の夜の夢」序曲はあまりにも有名ですね。フルートが軽やかに活躍する曲です。続いて、ミニマル音楽の作曲家でもあるアルヴォ・ペルト。映画音楽でも活躍するエストニアの作曲家です。「フラトレス」はペルト自身の編曲でいくつかのアレンジがありますが、今回はデ・フリーントが選曲した弦楽器と打楽器のバージョンで演奏されます。続くダウランドの「あふれよ、涙」(涙のパヴァーヌ)はポップス界ではよく知られた曲で、そのあまりにも美しいメロディは様々なアレンジで演奏されますが、京響では弦楽合奏バージョンで演奏しますのでお楽しみに。そして最後に、シューマンの交響曲第2番ハ長調。メンデルスゾーンの指揮で初演されたこの交響曲は、デ・フリーントの持つあの手この手のシューマン解釈全てが凝縮された名演になることでしょう。また、〈フライデー・ナイト・スペシャル〉のモーツァルトの「グラン・パルティータ」では、管楽アンサンブルの妙技と色彩豊かな音楽を存分にお楽しみいただけますので、どうぞお聴き逃しなく！

## 指揮 ◆ ヤン・ヴィレム・デ・フリーント (首席客演指揮者)

ヤン・ヴィレム・デ・フリーントは、ウィーン室内管弦楽団首席指揮者、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団アーティストック・パートナー。ベルギー国立管、香港フィル、メルボルン響、リヨン国立管、ロッテルダム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、チューリッヒ・トーンハレ管、読売日響等にも定期的に客演。2015-2019年ハーグ・レジデンティ管の首席指揮者、2006-2017年フィオン・ヘルダーラント&オーファーアイセル管の常任指揮者、2015-2021年バルセロナ響の首席客演指揮者、2008-2015年ブラント管の首席客演指揮者を歴任。デ・フリーントは、1982年に自ら創設し、2015年まではコンサートマスターとしてもリードしたコンパッティメント・コンソート・アムステルダム音楽監督として国際的な名声を確立した。18世紀音楽を専門とし、ピリオド奏法をモダン楽器に適用することで、コンパッティメント・コンソート・アムステルダムは数多くの耳慣れない作品に新たな生命を与え、そのコラボレーション精神は、デ・フリーント自らが探求して力を注ぐ交響曲のレパートリーや、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス等の音楽へのアプローチの中に息づいている。オペラの分野では、ヨーロッパとアメリカにおいて、コンパッティメント・コンソート・アムステルダムとのエヴァ・ブッフマン演出によるモンテヴェルディ、ハイドン、ヘンデル、テレマン、J.S.バッハ作品のほか、オランダ響とはモーツァルト、ヴェルディ、ケルビーニのオペラを取り上げ、またアムステルダム、バルセロナ、ストラスブル、ルツェルン、ベルゲンでもオペラを指揮している。デ・フリーントはオランダでテレビ・シリーズにもいくつか出演するなど、様々な音楽番組への登場で知名度も高く、2012年にはクラシック音楽へのクリエイティブな貢献に対し、オランダ公共放送NPO Radio 4から賞を贈られた。2024年4月から京都市交響楽団の首席客演指揮者に就任。



©Hans Morren

## 京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ベンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和

## 次回予告



準・メルクル  
©Jean-Baptiste Millot



アレクサンドラ・ドヴガン  
©Irina Schymchak

2024.12/27(金)から  
発売!

第697回  
定期演奏会

## 準・メルクルの「ダフニスとクロエ」、バレエ音楽の世界へII

会場 京都コンサートホール

指揮 準・メルクル 独奏 アレクサンドラ・ドヴガン(ピアノ)★ 合唱 京響コーラス◆

2025 2/15(土) 午後2時30分開演

曲目 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43★

ラヴェル：バレエ音楽「ダフニスとクロエ」全曲◆

入場料 5,500円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円